



飯山市『まるごとまちごとハザードマップ』

飯山市と連携して、飯山市木島地区に「想定浸水深」と「実績浸水深」を現地表示します

地域住民の洪水意識及び避難所の認識をさらに高め、適切な避難行動に繋がっていただくことを狙いとして、「まるごとまちごとハザードマップ」を設置します。

この「まるごとまちごとハザードマップ」は、河川がはん濫を起こしたときの浸水予想にもとづき、**浸水する範囲と深さ、避難所を示した情報を標識にして、実際にまちの中で表示する**ものです。

このたび、千曲川河川事務所では、**昭和57年、58年と洪水による被害を受けた経験を持つ飯山市と連携**して、昨年度は飯山市常盤地区、今年度は木島地区で、水防・避難情報の標識を設置します。

千曲川河川事務所長、飯山市長、地区関係者らにより、標識の取付作業を行います。

作業開始 平成23年8月5日(金) 10:00 から

飯山市大字木島1011 木島地区活性化センター 及び 周辺電柱

【設置事例】 H22年度実施した飯山市常盤地区



電柱に設置された「想定浸水深」を表示する標識



公会堂等に設置された「実績浸水深」を表示する標識

木島地区活性化センター 案内図



【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局

千曲川河川事務所 026(227)7611

副所長(管理) 柴澤一嘉

防災情報課長 塩野 宏

※ 飯山市からも、同旨の記者発表が行われています。